



Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市



川崎市グリーンボンド（令和5年度発行） インパクトレポート・ブック

令和6年10月

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



2024年、川崎市は市制100周年



目次

1

川崎市のSDGsの取組

2

令和5年度グリーンボンドの発行概要

3

フレームワークに基づくレポーティング

1

川崎市のSDGsの取組



KAWASAKI
SDGs 

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



川崎市のSDGsの取組 ~川崎市の環境への取組~

➤ 政令市最大のCO2排出地域であると同時に、大規模エネルギー供給拠点としての特性や、産業・研究開発拠点としての特性も踏まえ、他都市や国に先駆けた取組を推進

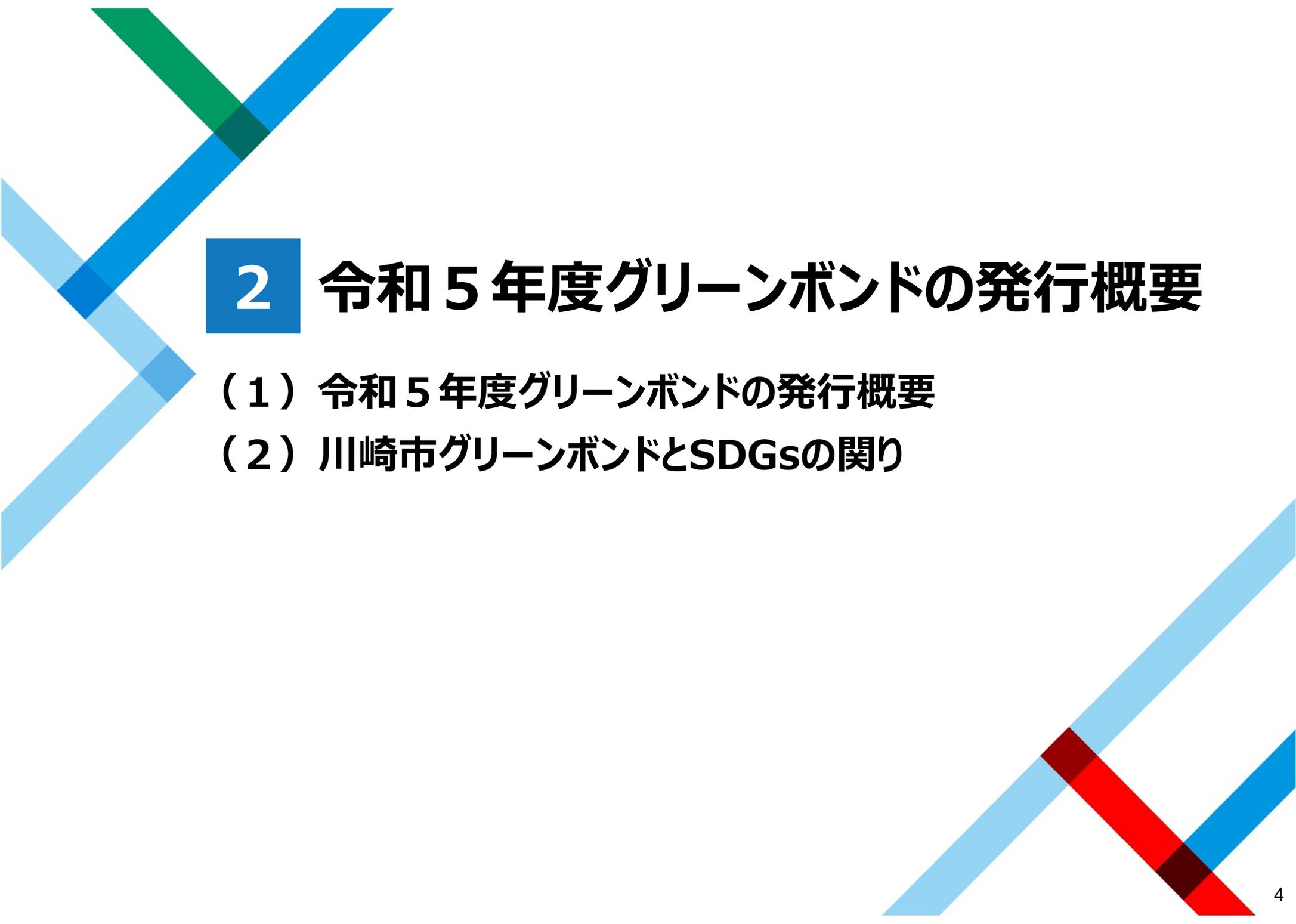
2020年までの取組

1960~1970年代	京浜工業地帯の中核として産業の発展を牽引
1994年 2月	【川崎市環境基本計画】を策定 (令和3年2月改訂)
1998年	【川崎市の地球温暖化防止への挑戦 ~地球環境保全のための行動計画】を策定
2004年	【川崎市地球温暖化対策地域推進計画 ~川崎市の地球温暖化防止への挑戦】を策定
2004年	全国で初となる環境配慮型ミニ公募債 【川崎市緑化推進債】を発行
2008年	【カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略(CCかわさき)】を策定
2010年	【川崎市地球温暖化対策推進基本計画】を策定 (平成30年3月改訂)
2019年 7月	【SDGs未来都市】に選定
2020年 7月	国に先駆けて【カーボンニュートラル宣言】を実施
2020年 11月	【かわさきカーボンゼロチャレンジ2050】を策定 ⇒2050年のカーボンニュートラル実現に向けた方向性を整理

2021年以降の取組

2021年 8月	第1回グリーンボンド（政令市初）
2022年 3月	【川崎市地球温暖化対策推進基本計画】を改訂 ⇒国の削減目標よりも高い削減目標を設定
2022年 8月	第2回グリーンボンド
2023年 3月	川崎市地球温暖化対策条例を改正 ⇒2050年の脱炭素社会を目指す事を基本理念とする条例に フレームワーク改訂を行い、ブループロジェクトを盛り込んだ「A Practitioner's Guide for Bonds to Finance the Sustainable Blue Economy」の第一号案件として発行
2023年 11月	第3回グリーンボンド
2023年 11月	個人向けグリーンボンド（本市として初）
2023年 11月	グリーン共同債に参加

**2024年7月に市制100周年を迎えるなか
「その先」に向けSDGsの取組に挑戦中!**



2

令和5年度グリーンボンドの発行概要

- (1) 令和5年度グリーンボンドの発行概要
- (2) 川崎市グリーンボンドとSDGsの関り

(1) 令和5年度グリーンボンドの発行概要

川崎市グリーンボンド(令和5年度発行)の概要

	機関投資家向け	個人向け
債券名称	第3回川崎市グリーンボンド5年公募公債	第1回川崎市グリーンボンド5年公募公債(個人向け) 愛称：かわさきグリーンボンド(個人向け)
年限	5年（満期一括償還）	5年（満期一括償還）
発行額	100億円	20億円
利率	0.408%	
条件決定日	令和5年11月17日	
発行日	令和5年11月29日	令和5年12月13日
主幹事/ 引受金融機関	みずほ証券株式会社 大和証券株式会社、野村證券株式会社	株式会社横浜銀行、川崎信用金庫、株式会社みずほ銀行、 大和証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、 SMBC日興証券株式会社、株式会社SBI証券、みずほ証券株式会社、 東海東京証券株式会社、丸三証券株式会社、岡三証券株式会社
適合性評価	第三者機関である株式会社日本格付研究所より、「グリーンボンド原則2021（ICMA）」、「グリーンボンドガイドライン（2022年版）（環境省）」、「A Practitioner's Guide for Bonds to Finance the Sustainable Blue Economy（ICMA/IFC/UNEP FI/UN Global Compact/ADB）」、「Blue Finance Guidelines（国際金融公社（IFC））」との適合性について最上位のGreen1(F)の評価を取得	

(1) 令和5年度グリーンボンドの発行概要

第3回川崎市グリーンボンド5年公募公債の投資表明先一覧(五十音順)

明石市	株式会社 ウェーブクレスト	大田区	株式会社神奈川銀行	一般社団法人 神奈川県果実協会	神奈川県 ジェイエイ共済ビル 株式会社	一般社団法人 神奈川県保健協会
株式会社 神奈川保健事業社	公益財団法人 川崎市産業振興財団	川崎市住宅供給公社	川崎信用金庫	独立行政法人 環境再生保全機構	岐阜県山県市	株式会社 喜美代建設
協成電気 株式会社	株式会社きらぼし銀行	JA 共済連 (全国共済農業協同 組合連合会)	地方独立行政法人 静岡市立静岡病院	独立行政法人 住宅金融支援機構	(学)珠泉学院 梅の木幼稚園	信金中央金庫
吹田市	逗子市	有限会社 ステップ・オン	学校法人捜真学院	株式会社中京銀行	東日電設株式会社	公益社団法人 東洋療法学校協会
株式会社トーエル	日本ボーイスカウト 川崎地区賛助会	日本コープ共済 生活協同組合連合会	日本地震再保険 株式会社	公益財団法人 日本植物調節剤 研究協会	日本ダスト株式会社	株式会社 日本貿易保険
ハウスメツガー・ハタ	浜銀TT証券株式会社	株式会社東日本銀行	有限会社 ヘルスメディカルサポート	株式会社北洋銀行	株式会社みずほ銀行	株式会社 三菱UFJ銀行
水俣市	武蔵野工業 株式会社	有限会社モティス	山北町	又新運輸株式会社	株式会社横浜銀行	株式会社両津工業



(2) 川崎市グリーンボンドとSDGsの関り

➤ 本市のフレームワークに基づきグリーン/ブルーボンドを発行することは、市内のSDGs債への投資・発行を促す一助となることに加え、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の「7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「11：住み続けられるまちづくりを」「12：つくる責任つかう責任」「13：気候変動に具体的な対策を」「14：海の豊かさを守ろう」についても、その達成に貢献するものと考えます。

	SDGs目標	本市との関り
	<p>7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 橋処理センター整備事業 本庁舎等建替事業（グリーンビルディング化） 高効率照明機器等の整備（庁内照明のLED化の促進） CNP形成に向けた電気推進船の導入 地域エネルギー会社出資金
	<p>12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 橋処理センター整備事業 船舶の安全な航行や着岸の支障となるごみの回収を行う清掃船の更新
	<p>11.5 2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。</p> <p>11.6 2030年までに、大気の状態及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。</p> <p>11.b 2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靭さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 五反田川放水路整備事業（分流立杭内の隔壁及びドロップシャフト等の築造、洪水を取り込む沈砂池や導水路、護岸等の整備） 橋処理センター整備事業 船舶の安全な航行や着岸の支障となるごみの回収を行う清掃船の更新
	<p>13.1 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。</p>	
	<p>14.1 2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 船舶の安全な航行や着岸の支障となるごみの回収を行う清掃船の更新



3 フレームワークに基づくレポーティング

- (1) 充当状況・環境改善効果に係るレポーティング**
- (2) 令和5年度グリーンボンドの資金使途について**

(1) 充当状況・環境改善効果に係るレポート

資金使途・環境改善効果等の一覧

グリーンボンド原則 事業区分	グリーン適格プロジェクト	充当金額(百万円)		環境改善効果
		機関投資家向け	個人向け	
汚染防止及び抑制 エネルギー効率	橋処理センター整備事業	267	141	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー回収率：21.5%以上 発電電力量（年間発電量）：82,800,000kWh CO2排出削減量：40,212.3t-CO2/年 ミックスペーパー処理能力：45t/日（5h） 排ガス基準値の削減幅（新旧処理センターの比較） ばいじん：0.02g/m3N以下→0.008g/m3N以下 SOx：30ppm以下→8ppm以下 NOx：58ppm以下→24ppm以下 HCI：50ppm以下→8ppm以下 ダイオキシン類：0.5ng-TEQ/m3N 以下 →0.008ng-TEQ/m3N 以下
グリーンビルディング	本庁舎等建替事業	8,779	1,411	<ul style="list-style-type: none"> CASBEE川崎Sランク取得 【年間の一次エネルギー消費量設計値】 35,142.7【GJ/年】 563.58【MJ/（延床㎡・年）】
エネルギー効率	環境配慮技術導入事業	394	90	<ul style="list-style-type: none"> CO2削減量：404t-CO2/年
気候変動への適応 持続可能な水資源 および廃水管理	五反田川放水路整備事業	520	357	<ul style="list-style-type: none"> 浸水想定面積：225ha 解消 浸水想定戸数：5,754戸 解消
再生可能エネルギー	地域エネルギー会社出資金	38	-	<ul style="list-style-type: none"> R6市域への再生可能エネルギー供給量：約110GWh（計画量）
グリーンボンド原則 事業区分	ブルー適格プロジェクト	充当金額(百万円)		環境改善効果
		機関投資家向け	個人向け	
汚染防止及び抑制	清掃船(電気推進船)の建造	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ごみの回収量：269㎡（R3～R5平均） ※同型船を建造しているため、完成後のごみ回収量は変わらない見込み CO2排出削減量：年間約45tの削減 （軽油17.18KL（R3～R5平均）×2.62（tCo2）=45.01t） ※電気推進船の運用当初は再生可能エネルギー100%電力ではないため、増加した電力分のCO2が発生するが、今後、再生可能エネルギー100%電力に切り替われば、電力に由来するCO2はゼロとなる予定
		10,000	2,000	



(2) 令和5年度グリーンボンドの資金使途について①

橋処理センター整備事業

グリーンボンド原則事業区分	環境面での便益	関連するSDGs
汚染防止及び抑制 エネルギー効率	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー回収率(発電能力)の向上 廃棄物由来によるバイオマス発電 環境負荷の軽減(有害物質の排出削減) ミックスペーパー資源化処理による3Rの推進 	

事業概要・令和5年度の実施内容

- ごみ焼却処理施設及びミックスペーパー資源化処理施設の建設を行うものです
- 令和5年度は建築、プラント設備の工事を完了させ、試運転や性能確認を実施し、新たな橋処理センター建設工事が完了、稼働しました



橋処理センター外観

充当金額

機関投資家向け	個人向け
267百万円	141百万円
408百万円	

環境改善効果

項目	効果
エネルギー回収率	● 21.5%以上
発電電力量(年間発電量)	● 82,800,800kWh
CO2排出削減量	● 40,212.3t-CO2/年
ミックスペーパー処理能力	● 45t/日(5h)
排ガス基準値の削減幅(新旧処理センターの比較)	ばいじん ● 0.02g/m3N以下 →0.008g/m3N以下
	SOx ● 30ppm以下→8ppm以下
	NOx ● 58ppm以下→24ppm以下
	HCl ● 50ppm以下→8ppm以下
ダイオキシン類	● 0.5ng-TEQ/m3N 以下 →0.008ng-TEQ/m3N 以下



(2) 令和5年度グリーンボンドの資金使途について②

本庁舎等建替事業

グリーンボンド原則事業区分	環境面での便益	関連するSDGs
グリーンビルディング	<ul style="list-style-type: none"> CASBEE川崎Sランク評価(取得済み)の環境負荷の低減(温室効果ガスの排出削減) 災害対策活動の中核拠点としての機能強化 	   

事業概要・令和5年度の実施内容

- 都市型環境配慮庁舎機能を含む本庁舎の建替を行うものです
- 令和5年6月の工事完成後、11月から本格供用を開始し、令和6年2月に本庁舎への移転が完了しました



新本庁舎外観

充当金額

機関投資家向け	個人向け
8,779百万円	1,411百万円
10,190百万円	

環境改善効果

項目	効果
取得したグリーンビルディング認証	<ul style="list-style-type: none"> CASBEE川崎Sランク取得【年間の一次エネルギー消費量設計値】 35,142.7【GJ/年】 563.58【MJ/（延床㎡・年）】

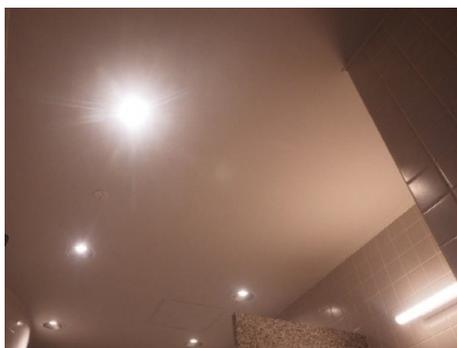
(2) 令和5年度グリーンボンドの資金用途について③

環境配慮技術導入事業

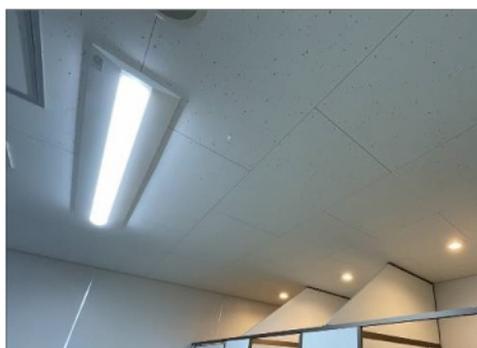
グリーンボンド原則事業区分	環境面での便益	関連するSDGs
エネルギー効率	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー消費削減によるCO2排出 削減量 	

事業概要・令和5年度の実施内容

- 市施設に高効率照明機器(LED)の整備しました
- 令和5年度は11施設、約12,800個を導入しました



岡本太郎美術館 LED照明



麻生小学校 LED照明

充当金額

機関投資家向け	個人向け
394百万円	90百万円
484百万円	

環境改善効果

項目	効果
CO2削減量	<ul style="list-style-type: none"> 404t-CO2/年



(2) 令和5年度グリーンボンドの資金使途について④

五反田川放水路整備事業

グリーンボンド原則事業区分	環境面での便益	関連するSDGs
気候変動への適応 持続可能な水資源および廃水管理	<ul style="list-style-type: none"> 水害リスクに対する地域防災力の向上 時間雨量90mmによる被害の解消 (浸水面積341ha,被害戸数7,100戸の解消) 	 

事業概要・令和5年度の実施内容

- 五反田川の水を直接多摩川へ放流するためのトンネルを整備するものです
- 機械設備や電気設備工事が完了し、令和6年3月31日より運用を開始しました



五反田川放水路(放流部)

充当金額

機関投資家向け	個人向け
520百万円	357百万円
877百万円	

環境改善効果

項目	効果
浸水想定面積	● 225ha 解消
浸水想定戸数	● 5,754戸 解消

本事業の効果として治水安全度は大幅に向上しましたが、国の浸水想定区域図策定マニュアルに基づく氾濫解析を改めて実施した結果、対象地域の時間雨量90mmによる被害がすべて解消するには至らず、当初想定よりも効果の数値が減少しました。今後、関連する河川事業を推進することで、対象地域の浸水被害の解消を目指していきます。

(2) 令和5年度グリーンボンドの資金使途について⑤

地域エネルギー会社出資金

グリーンボンド原則事業区分	環境面での便益	関連するSDGs
再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの普及促進 	

事業概要・令和5年度の実施内容

- 多様な主体が参画する地域エネルギープラットフォームの設立による地域の再生可能エネルギーの普及拡大を行うものです
- 令和5年度は、電気事業法に基づく小売電気事業者の登録や、電力の調達や供給についての調整及び契約など、令和6年4月からの事業開始に向けた準備を行いました



市長記者会見時
 (令和5年8月24日)

充当金額

機関投資家向け	個人向け
38百万円	-
38百万円	

環境改善効果

項目	効果
再エネ電力供給量	<ul style="list-style-type: none"> R6市域への再エネ電力供給量 約110GWh ※令和6年度の計画量



(2) 令和5年度グリーンボンドの資金使途について⑥

清掃船(電気推進船)の建造

グリーンボンド原則事業区分	環境面での便益	関連するSDGs
汚染防止及び抑制	<ul style="list-style-type: none"> 港湾・沿岸地域における廃棄物削減とCNP 形成に向けた取組の推進 	

事業概要・令和5年度の実施内容

- 船舶の安全な航行や着岸の支障となるごみの回収を行う清掃船の更新を行うものです
- 令和5年度は、契約を締結し、電気推進船（清掃船）の建造に着手しました。



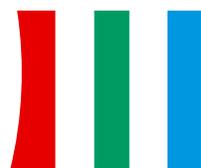
現行の清掃船の海面清掃業務の様子

充当金額

機関投資家向け	個人向け
2百万円	1百万円
3百万円	

環境改善効果

項目	効果
ごみの回収量	<ul style="list-style-type: none"> ● 269m³ (R3~R5平均) ※同型船を建造しているため、完成後のごみ回収量は変わらない見込み
CO2排出削減量	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間約45tの削減 (軽油17.18KL (R3~R5平均) × 2.62 (tCo2) = 45.01t) ※電気推進船の運用当初は再生可能エネルギー100%電力ではないため、増加した電力分のCO₂が発生するが、今後、再生可能エネルギー100%電力に切り替われば、電力に由来するCO₂はゼロとなる予定



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

川崎市

財政局財政部資金課

住所 〒210-8577 神奈川県川崎市川崎区宮本町一番地

TEL 044-200-2182

FAX 044-200-3904

HP <https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-4-1-0-0-0-0-0-0-0.html>

Mail 23sikin@city.kawasaki.jp